

選 評 用 紙

大会名

2017全国クラブ西地区大会

開催場所

鳴門アミノバリューホール

日時

2017.07.02(日)

男子・女子

準決勝

決勝

得点

得点

チーム名

ninfa-kagoshima

20

9 — 16
11 — 16

チーム名

EHC

32

前 半

EHCのスタートで試合が開始された。ninfa-kagoshimaは6番平野が落ちついてのミスを決め、先制した。EHCはアグレッシブなDFから相手のミスを誘い、8番久原の速攻など連続得点でリードを広げる。ninfa-kagoshimaも得点を重ねていくが、EHCのペースで前半が終る。

後 半

後半差を返してはかきたいninfa-kagoshimaだが、退場者を出してしまい、なかなかペースをつかむことができない。EHCは数的有利な状況を生かし、確実に加点していく。~~ninfa-kagoshimaも~~ EHCの6番木村や8番久原の活躍もあり、~~ninfa-kagoshimaも9番牧瀬を押しこめ、巧みなプレーを見せたが、~~ EHCの勢いを止めることはできなかった。
初優勝を収めた。今秋開催の国体に向けては、まずみかういてほしい。

記録者

横田 爽子

徳島県ハンドボール協会

ゲーム写真

選 評 用 紙

大会名

2017全国クラブ西地区大会

開催場所 鳴門アミノバリューホール

日時

2017.07.02 (日)

(男子)・女子

準決勝

(決勝)

得点

得点

チーム名

B.I.C

12 — 12

チーム名

SFIDA 山口

前 半

山口のスタートを物まき男子決勝。B.I.Cは速攻から先制するも、山口も早いリスタートから同点に追いつくと、5番 木村のサイドシュートで逆転に成功。

しかし、次第にディフェンスが機能し始めたB.I.Cは、10分カットからの速攻を心4連続得点を上げ、8分には6対3と3点リードとした。

その後、山口も7番 井上のポストシュートなどで得点を重ね、11分には6対6の同点に追いつくと、相手のミスも速攻につなげ、15分には10対7と3点リード。

ここから5分タイムアウトを取ったB.I.Cは、流れをひかきと3連続得点で一気に同点とし、20分が経過。

その後、21分に勝ち越ししたB.I.Cは、13対12と1点リードして前半を終了した。

後 半

1点リードのB.I.Cのスタートを物まき、2連続で15対12と3点差を付ける。

その後、ディフェンスは物まきの両チームGKのミスなどにより徐々に得点を上げるこじかきで、両チーム。10分経過時点では16対14とB.I.Cが2点リード。

何となく追いついていく山口は、4番 最良のシュートで、17分に18対17で逆転に成功。

B.I.Cも2番 高田のロングシュートで2連続で18分に追点するも、山口も追いついて、20分、21分に得点を上げ再び逆転。

残り1分30秒で21対21の同点に追いついたB.I.Cだったが、10分カットからの速攻で痛いのシュートミス。更に山口は残り10秒、3番 堀井のロングシュートで決まり、劇的な勝利を飾った。

記録者

徳島県ハンドボール協会

ゲーム写真

選 評 用 紙

大会名

2017全国クラブ西地区大会

開催場所

鳴門アミノバリューホール

日時

2017.07.02 (日)

男子・女子

準決勝

決勝

得点

得点

チーム名				チーム名
林クラブ	17	10 — 10 7 — 12	22	SFIDA山口
前 半				
開始直後SFIDA山口の中谷(主将)がゴールに決めた。しかし、林クラブがこれを返した。山口の堅守が守備の力に押され、前半は膠着状態。ゲームを最後に林クラブがゴールのキープがチームに押し寄せ、ゴールを奪取。後半は10-10の同点で終了。				
後 半				
後半はSFIDA山口が二連発得点。林クラブも同様に得点を重ね、両者互角のままゲームが流れる。後半8分、林クラブの中谷が退場し、試合は膠着状態に陥る。中盤、林クラブの堅守が守備の力に押され、後半はSFIDA山口のキープがゴールのキープに及ばず、17-22でSFIDA山口が勝利した。				
記録者				徳島県ハンドボール協会
ゲーム写真				

選 評 用 紙

大会名

2017全国クラブ西地区大会

開催場所

鳴門アミノバリューホール

日時

2017.07.02 (日)

男子・女子

準決勝

決勝

得点

得点

チーム名 EHC	得点 12 — 6 29 — 18	チーム名 香川レティース
前 半		
開始直後 EHC 6番本村がゴールからクロスオーバーをとり 8番久原の冷静に止め、先制した。その後両チームとも攻防をくり返していたが、決定力に安定を見せる EHC が点を重ねていく連攻に攻め込まれ、12-6で EHC リードのまま終了。		
後 半		
EHC リードのまま試合が進む。後半開始 10分ほど香川レティースは追いつけを見せる。しかし、メンバーを変えて 6番本村を中心にゲームを作る EHC の攻めを止められず点差はひらき、29-18で EHC が勝利した。		
記録者		徳島県ハンドボール協会
ゲーム写真		

選 評 用 紙

大会名

2017全国クラブ西地区大会

開催場所

鳴門アミノパリュールホール

日時

2017.07.02 (日)

男子

女子

準決勝

決勝

得点

得点

チーム名 HC長崎	16	10 — 8 6 — 11	19	チーム名 ninja-kagoshima
前 半				
HC長崎のスタートで試合が始まる。HC長崎⑤番金ヶ江のミドルシュートが決まり、HC長崎のペースで試合が展開されていく。スポットをいかした速攻から得点を重ねていく。ninja-kagoshimaもGKを中心に堅いDFからリズムを作り、11番西郷のサイドシュートで加点していく。前半終了間際にもHC長崎が得点を重ね、2点リードで前半を終了した。				
後 半				
後半開始後も両チーム得点を重ねていく。ninja-kagoshimaは11番西郷の活躍もあり、同点を追いつく。退場者を出すかGK16番伊地知がナイスセーブを見せて、2分間をしいた。後半13分から連続5得点もあり、再び ninja-kagoshimaが九州対決を制し、決勝進出を決めた。				
記録者	横田 恵子			徳島県ハンドボール協会
ゲーム写真				

2017/07/18/X 17:38

選 評 用 紙

大会名

2017全国クラブ西地区大会

開催場所

鳴門アミノバリューホール

日時

2017.07.02 (日)

(男子)・女子

(準決勝)

決勝

得点

得点

チーム名		9	13
熊本教員クラブ	17	8	15
		28	B、I、C

前 半

熊本の20-17を物とも試合は、開始早々からペースを握る展開。21番 松本のロング3番高野のサイドシュートなど、熊本が22点リードするも、B、I、Cは立て続けに速攻を続け、3番上里のホストシュートで16分には逆転を遂げる。

その後一進一退の攻防となり、9分には4対4の同点となるが、10分過ぎにB、I、Cは21番高野のロングシュートで逆転し、点差を2点に広げた。

追いつきたい熊本は、21番 松本がロングを決めると、2点差のまま10分が経過。

逆にB、I、Cは4番内田のホストシュート、21番高野のシュートなどで点差を広げ、13対9と4点差とし前半終了。

後 半

4点差を物とも後半、熊本は前半同様に得点を挙げられなかったが、4分が経過。B、I、Cは速攻をもちにし、5点差に。点差を広げたB、I、Cは早い時間帯に追いつきたい熊本、それをも得点を重ねるが、差は縮まることなく5点差のまま10分が経過。

11分、B、I、Cは4番内田のホストシュートで6点差とするが、熊本は3番高野がホストシュート、速攻を遂行し、点差を2点に縮める。逆にB、I、Cも11番 通事の上野により、再び6点差に。ここで熊本はタイムアウトを取り流れを変えようとするが、19分以降相手のミスを随所に得点につなげたB、I、Cは残り5分で24対14と10点差とし、その後も得点を重ね28対17で勝利した。

記録者

徳島県ハンドボール協会

ゲーム写真